

障がい学生支援センターだより

誰もがいきいきと学べる大学

「教職員のための障がい学生支援ガイドブック」リニューアル！

障がい学生支援センターでは、平成28年に設立当初、「教職員のための障がい学生支援ガイドブック」を作成し、全教職員に配布しました。昨年度リニューアルを行い、4月に新しいガイドブックを全教職員に再度配布しました！先生方のお手元に届いていますでしょうか？

◆リニューアルのポイント！

- **内容がさらに充実！**…合理的配慮の考え方に関する説明や、内部障がい、精神障がい等最近増加している学生の様子や対応について加えました！さらに、オンライン形式での配慮も記載。
- **見やすさを重視！**…文章は多いですが…色調や読みやすいフォントを採用し、見やすさを意識しました！

障がい学生が学びたいことを十分に学べるようにするためのニーズに応じた変更・調整、それが「合理的配慮」です。国立大学においては、**障がい学生が学ぶために必要な合理的配慮を提供することが義務**となっています。改めてこのガイドブックをお読みいただき、新年度からも障がい学生への合理的配慮についてご理解とご支援のほど、何卒よろしくご願ひ申し上げます！！ガイドブックをご入り用であれば、障がい学生支援センターまでご連絡下さい！



先生方へのお願い！ — 配慮依頼文書が届いたら… —

支援センターでは、学生それぞれの合理的配慮のエッセンスをまとめた「配慮依頼文書」を発行しています。令和4年度は、**90名**の学生が支援センターを利用し、後期には**約60名**分の配慮依頼文書を発行しました。新年度も、配慮を希望する学生が同程度おりますので、ご理解とご対応のほど何卒宜しくご願ひ申し上げます！

先生方へのお願い！！

- ◆ 配慮依頼文書がお手元に届きましたら、**必ず内容をご確認下さい！**
- ◆ 配慮依頼文書の内容は、当該学生の所属学部等でも確認いただき、了承されたものです。記載内容は「合理的配慮」にあたるもので、正当な理由なく実施しないことは「不当な差別的取り扱い」とみなされます。
- ◆ 配慮依頼文書は、あくまでも**必要な対応の大枠を示したもので**、先生方が実施する授業方法、評価方法によっては、必要な対応が異なることもあります。配慮の実施が難しい等があれば、必要に応じて**当該学生と対話の場**を持っていただきますよう、ご対応のほどよろしくご願ひいたします！
ご不明な点がございましたら、障がい学生支援センターまでご相談下さい！
- ◆ 配慮依頼文書は、履修科目確定後に学部等から発出されますので、**お手元に届くのが、授業開始2,3週間後**になります。早めの対応が必要と思われる場合には、学生から直接挨拶や相談にうかがうよう促しますので、ご対応のほどよろしくご願ひいたします。

聴覚障がい学生からの卒業記念コメント！

本学では、様々な障がい学生が学んでいます。この度、**聴覚障がい学生が学部卒業を経て大学院を修了します!!**それを記念して、これまでの大学生活や大学で学んだことなどについてコメントをいただきました！

有海 ご卒業おめでとうございます！大学の4年間と大学院の2年間よく頑張りましたね！
大学生活を振り返っていかがですか？

学生 1年生の時から支援センターにお世話になりましたね。この6年間は本当にあっという間でした。

私は軽度の難聴のため、筆談や手話など重度の難聴者が必要とするような配慮を依頼することはなく、自分が快適に過ごせる配慮がどのようなものか、正直わかりませんでした。

そのため、支援センターでの定期的な面談で、**さまざまな援助機器を試すことや、「はっきりと大きな声で話してほしい」などの配慮依頼を申請することを通して「自分にとって必要な配慮」を見つけることに繋がりました。**

このことは、今後社会で働き、聞こえづらいことによるミスやストレスをためずに過ごすために、相手にどうしてほしいかを伝える上で、必要な経験だったと感じています。

有海 ご自身が頑張らずに学ぶ、過ごすために必要な配慮や環境はどういったものか、そしてそれを求めるために周囲にどう伝えていかなどを一緒に考え試行錯誤しましたよね。

障がい学生も含め学生を教育・支援していくにあたり、私たち教職員が理解・留意すべきことはありますか？

学生 難聴は個人によって程度が非常に異なるため、その対応はとても難しいかと思います。ただ、**見やすいスライドの作成や提示、はっきり話すことを意識するなど、難聴者に限らず、誰にとっても理解しやすい講義だ**と思います。ですので、教職員の皆さんには、難聴者も含め、より多くの人にとって理解しやすい講義をぜひ極めて頂けたらと思います。
あとは、**難聴であることを忘れられることも多いので…「難聴者が山形大学にも、日常場面にもいる！」ということを忘れないでほしいです！(^_^)**

今まで「聞こえづらい環境でも仕方ないか」と諦めることもありましたが、さまざまな対処法があることを知り、それを試すことも楽しく感じられるようになったのは、支援センターの皆さんのお陰です。

6年間、ありがとうございました！



▲ 学生が試した補聴援助機器
(左が送信機、右が受信機。話し手の発話を聞き取りやすくする)



▲ セミナーで文字通訳を試す聴覚障がい学生

YU ハートサポーター卒業生からのコメント

障がい学生支援センターでは、主に身体障がい学生をサポートする学生「**YU ハートサポーター**」(略して、ハトサポ)を養成しています。1年生から4年間ハトサポとして活躍してくれた学生からコメントをいただきました！

私がハトサポとして主にやってきたことは、**聴覚障がい学生への支援である「パソコンノートテイク」**です。このパソコンノートテイクとは、先生の話の瞬時に要約し、タイピングして文字化することで「授業内容が見えるようにする」文字通訳支援です。

これをやってきて気づいたことは、「**今まで見えなかったことが見えるようになる**」ということです。パソコンノートテイクの支援やゆっくりハッキリ話すことは、聴覚障がいのある方だけではなく、耳が聴こえる人にとっても有用であること、見た目ではわからないけれど障がいを持つ人がいるということ、そしてハトサポには実に心優しい人が集まりやすいということなどを、ハトサポ活動を通して知りました。

そして結果的に見えてきたことは、「**支援すること自体が学びになる**」ということです。**ハトサポは、障がい学生の学びを保障するとともに、支援学生の学びを補強する「大学生」らしい活動、まさに“青春”だと思います！**

ぜひ多くの学生や教職員の皆さんにこのハトサポの魅力を知ってほしいです！



▲ パソコンノートテイク支援を行う野口さん

障がい学生支援センター

TEL: 023-628-4922 FAX: 023-628-4485

E-mail: yu-shougai-shien@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

ホームページ URL : <http://www.yamagata-u.ac.jp/jp/scsd/>

支援センターHPのURLは、右のコードから読み取れます

